

第11回米原市定例教育委員会

日 時：平成27年11月18日

午後3時30分～

場 所：山東庁舎3階 第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長、河居委員長職務代理者、小路委員、本庄委員
山本教育長

教 育 部 長：田中部長

教 育 総 務 課：仲谷課長、藤岡課長補佐

学 校 教 育 課：岡田課長、稲垣

生 涯 学 習 課：宮崎次長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：森田課長

図 書 館：雨森館長

こども未来部：岩山部長、安食次長

書 記：西村

1 開 会

2 委員長あいさつ

今日はあいにくの天気ですが、秋たけなわ、芸術の秋、スポーツの秋、文化の秋と秋本番になってきました。学校や園の子ども達も様々な体験を積み重ねているのではないかと思います。今日から小中学校の学校訪問が始まり、中学校2校を訪問しましたが、学習にしっかりと打ち込んでいて、大変うれしく思いました。委員の皆さまにおかれましては、先週、都市連協の県外研修として奈良まで御参加いただきありがとうございます。教育総務課の方にはお世話になり、改めてお礼申し上げます。ボリュームのある資料でしたが、みなさんお目通しいただけましたでしょうか。講演、シンポジウムを聞きながら、なるほどと思う面とちょっと次元が違うなと感じるところがあり、いろいろな感想があるかと思います。特に印象に残っているのは、教師の専門性は自己研鑽だけでは成立せず、初めて着任して毎日子どもと向かい合うなかで、教職としての単位を1年目、2年目、3年目と取っていくのではないのでしょうか。話の中では、経験値という言葉を使っておられましたが、他の仲間や同僚に育てられてきたから、今日があるわけです。教員だけでなく、市の職員も同じですが、自分一人で今日があるのではない、一人では成長できません。学校の風土、職員室の雰囲気、同僚から学ぶこと育てられることは、教員の質を高めるのに影響するのではないのでしょうか。管理職の先生方の指導力が大切であると感じました。また、資料も読んでいただけるとよいかと思います。奈良まで行った甲斐があったと思います。

3 会議録承認

11月定例会

4 教育長報告

○10月24、25日山城サミットを文化産業交流会館で開催し、約500人の方に来ていただきました。天候もよく、土曜日の現地見学会も3つのコースはほぼ一杯で、山城に興味のあった方には喜んでいただけたかと思います。また、500人の方が閉会までおられたところを目の当たりにして、山城ブーム、米原の魅力がたくさんあることを改めて感じました。

11月12日の奈良の都市連協の研修会ですが、テーマはアクティブラーニングを今後どのように我々が理解して学校現場で進めていくのか、狙いは何かというところにあると思います。子ども達が先生の話聞いて学ぶだけでなく、自らが主体的、能動的、また共同的な学習の中で学び合う、その中で子どもは自分の意見を認めてもらえたという喜びのなかで自己肯定感や自尊感情を育て、次なる学習意欲につながるというところが一つの授業づくりになると理解しています。その中で、アクティブラーニングを作り上げるための、職員間の同僚としての学び合い、語り合いは大事です。今後の学校訪問が続く中で、委員の皆さまも意識して参観していただけるとよいと思います。また、その関連もあります。伊吹小学校で11月13日に近畿の小学校の生活科あるいは総合的な学習の時間の公開授業があり200人くらい来ていただきました。埼玉県文教大学の嶋野先生に講演をしていただきましたが、事前に伊吹小学校へは何度か授業研究に参加していただいたところ、先生方が非常に熱心で、子ども達の授業の進め方もすばらしく、1年目、2年目、3年目の若手の先生が力をつけているところに感心しておられました。やはり研究を共に進める中で若手も育つというところを、評価していただきました。

予算の各課の部内ヒアリングを11月上旬に実施し、今週の月曜日には教育部として予算を財政課に提出しました。今後、財政課の査定、総務部長の内示、1月に入ってから復活要求、1月下旬に最終的な内示となります。今後、こちらが説明責任を果たさなくてはいけませんので、その準備にかかりたいと思います。

11月21日に県の教育フォーラムがあります。その時に、委員長が県の教育功労者賞を受賞されます。長く教育委員、委員長として勤めていただいた功績に対しての受賞となります。

- 教育総務課では、教育振興基本計画策定業務のプロポーザルの公募に、3者の応募があり、11月25日にプレゼンテーションを実施します。同じ25日には、総合教育会議が16時から開催され、教育理念をまとめあげられたらというところで政策推進課と調整しています。
- 学校教育課では、人事訪問は一通り終わり、学校訪問は本日から始まりました。また、中学校区ごとの教育フォーラムは、残り双葉中学校だけです。分科会や懇談会を開催しているところもありまして、大東中学校区でも話がありましたが、懇談会で地域や評議委員の皆さんの意見が聞けて大変よかったと感じました。今後もこのような形でフォーラムができればと思います。
- 生涯学習課では、10月の土曜日、日曜日はいろいろな事業が展開されました。ルッチのまちづくり大学の公開講座では、カレー鍋からつながるコミュニティとして、東京から来ていただいてルッチで米原の食材を生かしたカレー作りをされ、非常においしく出来上がりました。県の人権教育研究大会もあり、またトップアスリート事業、スポーツの関係で先日、プロ野球投手やオリックスの2軍の監督に来ていただいて中学生向けのトップアスリート授業をしていただきました。さらに私も体育協会の方と一緒に今後の体協の事務局移管に向けて、掛川市へ視察に行きました。大きな体育協会としての組織でしたが、学ぶところがありました。財源的に大規模なところだったので、今度は米原市と同規模なところで体協のあり方を考えていきたいと思っています。今週11月22日にいきいき健康ウォークを、河南中を出発して番場の蓮華寺を目指して開催します。今年はノルディックウォークを付け加えて、9時開会式です。
- 歴史文化財保護課では、11月23日の流星の打ち上げの準備中です。ボランティアスタッフの説明会が明日の夜開催され、職員80人参加予定です。当日は100人くらいのスタッフで、9時半開会式、10時頃に打ち上げの予定です。天気が心配ですが、風が吹かなければ大丈夫かと思っております。そして、米原小学校の旧校舎に文化財の資料が保管さ

れていますが、それを旧息郷小学校の校舎に移転しています。これは、米原保育園の改築工事に向けての諸準備ということで、来年度は米原保育園が旧米原小学校の校舎を使って保育をされますので、文化財の移動をしているところです。

- 学校給食課では、今月も安心安全な給食の提供を行っていますが、それと同時に、食育に関する事業を展開しております。今後、小中学校のお鍋給食や親子料理教室の実施などで食育の発信機能も十分果たしていきます。
- 図書館では、近江、山東の蔵書点検をたくさんの学生、市民ボランティアの方に協力いただいて終わることができました。また、図書館運営協議会の方の県内研修等もあり、定例のお話会もしていただいています。11月22日の健康いきいきウォークと並行しながら、近江図書館のかたりべホールにおいて読書活動推進事業の成果報告会を開催します。

委員：教育長から旧米原小学校の移転の話がありましたが、野外の銅像はどうするのでしょうか。ルッチ大学でいろいろと気になる場所がありましたので。

事務局：前庭にばらばらに置いてある銅像を一か所に集めて現地で保存する予定です。

委員：平和記念像も含めてですか。

事務局：そうです。

委員：私もこの一か月いろいろな行事に参加して、良かったことをお伝えしたいと思います。山城サミットの先進地報告で、富山の方が戦国給食として、NPOの方が甲冑を着て学校に出向き、戦国風の給食を出しておられました。給食を通して地元を知っていただく、また戦国の世を学んでおられるということを知り、もしかしたら、米原でも給食を使ったこのような取組ができるのではないかと感じました。もう一つ、出前講座で、認知症のキャラバン隊を社協とタイアップしておられますが、先日河南小学校区へ先進地視察として行かせていただくことがあり、通学のパトロール隊がありその恩返しとして、子ども達にも認知症のことを理解してもらえるようなボランティア活動の取組をされていました。徘徊している方を見かけたときの対応などを学べるので、こういったことができればよいと感じました。小学校の高学年ならこういったことも理解ができるかと思えます。

委員：旧米原小学校の銅像を気にされている方はたくさんいます。区長さんに尋ねたところ、要望を書いて出したと聞いていました。昔、米原小学校が日本一になったときの大理石の石碑も残して欲しいと思います。地元と学校とがうまく回転しているところがいくつもあると感じています。図書館行事として、オオムラサキを守る会の方の講座で、双葉中学校や息長小学校に入っておられると聞いて、米原小学校でもそのような話が出ないかなと思って聞いておりました。もう一つ、中学校のUSB問題後の後任の先生のことが保護者の間で話題になっています。受験を控えていることもあり保護者が心配されています。その後どのようなになっていますか。

事務局：後任の講師ですが、うまく生徒とコミュニケーションがとれず、先生の思いや考えがうまく伝わらないことがあって、10月末でお辞めになられました。現在は、教務主任と校長が理科の授業を行っています。

委員：旧米原小学校の銅像など学校訪問の際に組み込んでいただけるとよいですね。

委員：市内をパトロールする機会があり、山東伊吹地域を回りましたが、日没も早くなり、子ども達の下校にも十分気をつけてほしいと思います。季節的に、冬に向けて体調を崩しやすいので、風邪やインフルエンザなど感染症に気を付けていただきたいと思います。

事務局：日没には家に着けるように下校時刻を決めています。天気が悪い日は、早く暗くなるので、心配なところはありますが。

委員：11月12日の県外研修で感じられたことがありましたら御意見をいただけますでしょうか。

- 委員 : 私の前に座られた方が守山市の内科医の方で、教育委員のことは良くわからないとおっしゃっていましたが、学校保健委員会があるので、そこを通して意見を聞きながら学校を知っていくのはどうですかと話をされていました。その横におられた草津の方も、早速草津市の事務局の方に話をつないでおられました。
- 事務局 : 学校保健委員会を年2回実施している学校は少なくなっています。子どもの体位測定の結果、けがの状況、アレルギーの問題等学校側の提供と校医さんから見た子どもの傾向を報告しますが、保護者の参加がしにくい現状があります。校医も忙しいと出席してもらえないケースもあります。
- 委員 : 守山市は、教育委員の県外研修を年1回一泊で行っているそうです。米原市も総合教育会議も増えてきましたし、委員の研修も検討いただけると良いかと思えます。守山市は福井の小中学校へ行かれたそうです。

5 議案審議

議案第89号 平成26年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検および評価等の報告について

【教育総務課】

原案承認

- 委員 : 議会への説明はありますか。
- 事務局 : 具体的な説明はありませんが、有識者の意見をいただいたところは添えさせていただく必要があるかと思えます。
- 事務局 : 療育事業について、学校との繋がりががあるため教育部にあった方が良いという意見は、議会でも取り上げられるかもしれませんが、来年度から療育が指定管理に出されるため、実際子どもの就学に関わる部分として、こども未来部や健康福祉部、そして、教育部として3つの部にまたがることも良いかと思えます。有識者は、療育センター所長をされていた経験もあってそういった意見をおっしゃったことだと思います。
- 委員 : 62ページ以降の学校評価について、いろいろなことが書いてあるので、もう一度見てもらった方がいいのではないのでしょうか。
- 委員 : アンケートがそのまま上がっているので、もう一度見直して、意見集約した方が良いかと思えます。

議案第90号 平成27年度米原市一般会計補正予算(第5号)について

【各課】

原案承認

- 委員 : 電気料金の増額は他の施設も発生するのではないですか。
- 事務局 : 全ての施設についてヒアリングを実施したところ、それぞれやりくりをいただいています。それでも調整のつかないところの補正をするという状況です。
- 事務局 : 東部給食センターはオール電化のためこのような状況になっています。

議案第91号 公の施設における指定管理者の指定について (米原市山東公民館、米原市山東グラウンドおよび米原市民体育館)

【生涯学習課】

原案承認

議案第92号 公の施設における指定管理者の指定について (米原市米原公民館)
【生涯学習課】
原案承認

議案第93号 公の施設における指定管理者の指定について (米原市近江公民館および米原市近江グラウンド)
【生涯学習課】
原案承認

議案第94号 公の施設における指定管理者の指定について (米原市米原野球場、米原市すぱーく米原および米原市息郷体育館)
【生涯学習課】
原案承認

議案第95号 公の施設における指定管理者の指定について (米原市醒井宿資料館、旧醒井郵便局局舎および米原市醒井宿資料館 川口家住宅 (旧醒井宿問屋場))
【歴史文化財保護課】

委員：公募は他の団体から応募があったのでしょうか。

事務局：他からの応募はありませんでした。

原案承認

議案第96号 米原市立保育所条例および米原市立学校設置条例の一部を改正する条例について
【保育幼稚園課】
原案承認

議案第97号 米原市教育振興基本計画審議会委員の委嘱および任命について
【教育総務課】
原案承認

議案第98号 後援等名義使用承認 (後援) について
○相撲指導者講習会
【生涯学習課】
原案承認

議案第99号 後援等名義使用承認 (共催) について
○京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサート
～珠玉の名曲集～
【生涯学習課】
原案承認

6 報告事項

(1) 平成27年度「米原市総合学力調査」の結果について
【学校教育課】

委員：各学校の学力調査の分析と、分析からの取組事例はまた出てくるのですか。

事務局：分析は各学校で行っているのですが、センターとしては行いません。

委員：各学校が分析をして、こういった取組が必要であるという実践事例集は毎年あり

ますね。

事務局：毎年9月段階で方策をまとめ、米原市の調査についての考察を年度末に出します。

今年度については学力層別のアプローチをします。その点は、全国の調査では出てきません。平均点だけをみていただけではわからないような、学力層の落ち込みに注目したいと思います。

委員：小学校の低位の個別支援が弱いと感じます。大東中学校の訪問に行っても、中学生がともに関わっていますが、もう少し小学校で個別支援ができないかなと思います。そのあたりの改善点を見ていきたいと思います。

委員：調査結果をまとめていただき御苦労様でした。考察の中で、学級で意見交流する場を設定することも効果的であろうと書かれていますが、実際に中学校を訪問して、授業を見ると子どもの発表する場面のある授業はあまりありませんでした。授業の組み立てについて、教育センターから学校へ提示できるといいと思います。いかに自分で学ぶか、そういう授業を目指して欲しいと思います。職員レベルで大事にしようという雰囲気を作ってほしいと思います。

事務局：分析の結果を基に、センターと学校教育課が連携して、学校に求めていかなければいけません。学校が求めているのは、自分の考えを書いてまとめ、話す姿です。今日の授業ではそういった場面が少なかったです。自分の考えを書いて話す、話す時に必要なことを考えるので、そこで磨かれると思います。書いて、話す、そして意見を交流できれば、そこは教師にとって相当難しいのですが、それを目指していきたいと思います。それが、米原市の授業改善につながると思いますし、教育長のおっしゃる個別指導が学校体制としてできれば、安定した学力向上になると思います。

委員：そういった授業を目指せば、子どもが育つ。子どもが育てば必ず教師も育っているはずですが。教師の一方的な授業ではこれからはだめです。教育センターとして資料提供をしていただけると良いかと思います。

7 質疑応答

8 その他

9 閉会

次回

第12回定例教育委員会 12月18日（金）午後3時30分から
山東庁舎3階第2委員会室

以上をもって第11回定例教育委員会を午後5時25分に終了した。